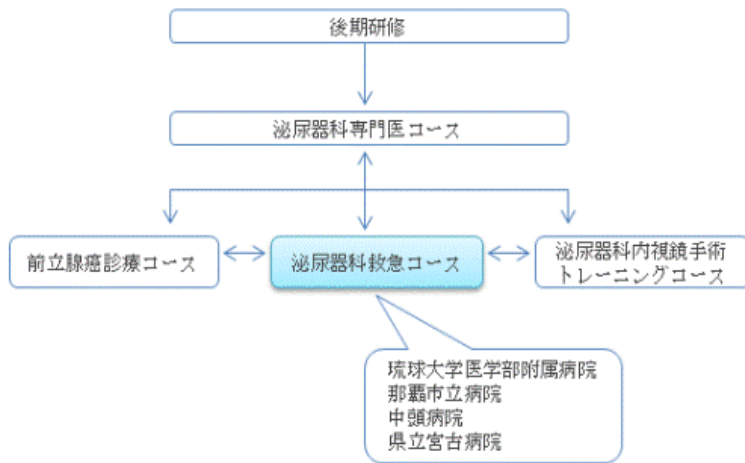


□ 後期研修プログラムについて

■ 泌尿器科救急コース

<コースの全体像>

泌尿器科の救急疾患は大学病院よりも一般市中病院を受診し、対応されていることが多い。主な泌尿器科救急疾患としては尿路結石症、尿路感染症、尿閉、外傷、急性陰?症などがある。薬剤による治療や簡単な外来処置で対応できるものからによるお閉塞による尿路感染症の場合では敗血症など重症化することがあり救急のドレナージ術を要する場合や外傷や急性陰?症でも緊急手術を必要とするものまで多岐にわたる。沖縄県内の救急医療を担う医療機関と連携して、すべての泌尿器科救急疾患に適切に対応できる泌尿器科専門医を養成する。



<コース概要>

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
中部徳洲会病院	泌尿器科	一般泌尿器科 泌尿器科救急	2名	泌尿器科救急疾患	1名	半年～1年
那覇市立病院	泌尿器科	一般泌尿器科 泌尿器科救急	2名	泌尿器科救急疾患	1名	半年～1年
中頭病院	泌尿器科	一般泌尿器科 泌尿器科救急	3名	泌尿器科救急疾患	1名	半年～1年
県立宮古病院	泌尿器科	一般泌尿器科 泌尿器科救急	1名	泌尿器科救急疾患	1名	半年～1年
琉球大学医学部附属病院	泌尿器科	一般泌尿器科 泌尿器科救急	6名	泌尿器科救急疾患	3名	2年
				受入人数	12名	

<コース実績>

泌尿器科専門医および指導医の条件として一般泌尿器科および泌尿器科救急疾患の知識および対応能力も要求される。琉球大学医学部附属病院ではこれまでに上記施設との連携・協力によって、一般泌尿器科および泌尿器科救急の研修を行ってきた。それによって、30名以上の泌尿器科専門医と20名以上の泌尿器科指導医を養成してきた。

<コースの指導状況>

上記の医療機関はそれぞれ地域における救急医療の基幹病院で、且つすでに初期および後期研修病院として実績を残している施設である。各医療機関の泌尿器科指導医を中心として泌尿器科研修の指導体制も確立しているが、琉球大学医学部附属病院泌尿器科とも綿密な連携をとって研修システムの向上を計っている。

<専門医の取得等>

学会等名	日本泌尿器科学会
資格名	泌尿器科専門医、泌尿器科指導医
資格要件	泌尿器科専門医(泌尿器科専門研修4年以上、専門医試験)、泌尿器科指導医(泌尿器科専門医取得5年以上、実績)
学会の連携等の概要	日本泌尿器科学会教育認定施設である。